国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	選択必須
学　　年	2年生	担当教員	阿部/皆川
科　目　名	English Strategy TOEIC650突破	時間数	170単位時間
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業
使用テキスト名	TOEICテスト公式問題集/TOEICテスト書き込みドリル(スコア650)/DUO		
補助教材			

科目概要と科目到達目標

TOEIC350点から500点の学生を対象に、650点突破を目指す。

授業の進め方・学習方法・課題

問題集を使用した実践形式のリーディング問題に慣れることにより得点力の向上を狙う。

繰り返し音声を聞くことにより、音声を記憶する。

ミニテストによる学習進捗状況の確認。

評価方法・成績評価基準

①定期試験 50%　②授業への積極的参加(出席率)20%　③提出物　20%　④学習意欲　10%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－70点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650)　人物の動作表現	5月TOEIC受験対策
2	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650)　物に関する描写	5月TOEIC受験対策
3	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650)　疑問詞を使った疑問文	5月TOEIC受験対策
4	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650)　依頼・提案・申し出	5月TOEIC受験対策
5	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650)　週1～週4までの復習	5月TOEIC受験対策
6	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650)　店・ホテルなどでの会話	7月TOEIC受験対策
7	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650)　電話での会話	7月TOEIC受験対策
8	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650)　オフィスでの会話	7月TOEIC受験対策
9	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650)　週6～週8までの復習	7月TOEIC受験対策
10	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650)　留守電メッセージ	7月TOEIC受験対策
11	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650)　アナウンス・広告・ニュース	7月TOEIC受験対策
12	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650)　週1～週11までの総復習	7月TOEIC受験対策
13	TOEICテスト公式問題集　P38～41　DUO section1～3	11月TOEIC受験対策
14	TOEICテスト公式問題集　P42～45　DUO section4～7	11月TOEIC受験対策
15	TOEICテスト公式問題集　P51～54　DUO section8～10	11月TOEIC受験対策
16	TOEICテスト公式問題集　P55～58　DUO section11～13	11月TOEIC受験対策
17	TOEICテスト公式問題集　P59～62　DUO section14～17	11月TOEIC受験対策
18	TOEIC直前テスト勉強	11月TOEIC受験対策
19	TOEICテスト公式問題集　P63～66　DUO section18～20	11月TOEIC受験対策
20	TOEICテスト公式問題集　P67～70　DUO section21～23	11月TOEIC受験対策
21	TOEICテスト公式問題集　P71～74　DUO section24～27	11月TOEIC受験対策
22	TOEICテスト公式問題集　P75～78　DUO section28～30	11月TOEIC受験対策
23	TOEICテスト公式問題集　P79～82　DUO section31～33	1月TOEIC受験対策
24	TOEICテスト公式問題集　P83～P86　DUO section34～37	1月TOEIC受験対策
25	TOEICテスト公式問題集　P87～90　DUO section38～40	1月TOEIC受験対策
26	TOEICテスト公式問題集　P91～94　DUO section41～43	1月TOEIC受験対策
27	TOEIC直前テスト勉強	1月TOEIC受験対策
28	TOEICテスト公式問題集　P95～98、 DUO section44～45	3月TOEIC受験対策
29	TOEICテスト公式問題集　P99～102	3月TOEIC受験対策
30	TOEICテスト公式問題集　P103～106	3月TOEIC受験対策
31	TOEICテスト公式問題集　P107～110	3月TOEIC受験対策
32	TOEICテスト公式問題集　P111～114	3月TOEIC受験対策
33	TOEICテスト公式問題集　P115～117	3月TOEIC受験対策
34	TOEICテストまとめ	

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	選択必須
学　　年	2年生	担当教員	坂上/小林 /寺田
科　目　名	English Strategy 英検2級	時間数	170単位時間
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業
使用テキスト名	2023年度版　英検2級過去問題集　出る順で最短合格単熟語EX		
補助教材			

科目概要と科目到達目標

読む、書く、聞く、話すの4技能を習得し2級取得を目指す

授業の進め方・学習方法・課題

レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる

リスニング対策

〇対面授業と遠隔授業の併用実施

評価方法・成績評価基準

①定期試験 50%　②授業への積極的参加(出席率)20%　③提出物　20%　④学習意欲　10%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－70点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	英検2級総合対策P3～13 出る順で最短合格単熟語EX P3～13	6月受験対策
2	出る順で最短合格単熟語EX P14～24 リスニング30問	6月受験対策
3	英検2級過去問題集2015年第1回　解答解説	6月受験対策
4	英検2級総合対策P14～24　2級過去問題2017長文解答	6月受験対策
5	2級過去問題集2015年第2回　解答解説　リスニング30問	6月受験対策
6	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　リスニング暗唱テスト	6月受験対策
7	英検2級対策P25～35　2級過去問題2017年第2回長文解説	6月受験対策
8	短文暗唱テスト8文　単熟語テスト100問	10月受験対策
9	英検2級対策P36～46　2級過去問題集2015年第3回解答	10月受験対策
10	短文暗唱テスト出る順で最短合格単熟語EX P25～35解答	10月受験対策
11	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　暗唱テスト	10月受験対策
12	英検2級総合対策P47～57　2級過去問題集	10月受験対策
13	短文暗唱テスト8文　出る順で最短合格単熟語EX P36～46	10月受験対策
14	英検2級総合対策P58～68　2級過去問題集2016年第1回	10月受験対策
15	英検2級総合対策P69～79　2級過去問題集	10月受験対策
16	短文暗唱テスト　出る順で最短合格単熟語EX P47～57解説	10月受験対策
17	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　　暗唱テスト	10月受験対策
18	英検2級総合対策P80～90解答解説 リスニング30問	10月受験対策
19	英検2級総合対策P91～101 解答解説　リスニング30問	10月受験対策
20	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　リスニング　暗唱テスト	10月受験対策
21	短文暗唱テスト8文　出る順で最短合格単熟語EX P58～68	10月受験対策
22	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　リスニングテスト	1月受験対策
23	英検2級総合対策P102～112	1月受験対策
24	英検2級総合対策P113～123 解答解説2級過去問題単語テスト	1月受験対策
25	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　リスニング　暗唱テスト	1月受験対策
26	短文暗唱テスト8文　出る順で最短合格単熟語EX P69～79	1月受験対策
27	英検2級総合対策P124～134 解答解説	1月受験対策
28	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
29	英検2級総合対策P135～145解答解説	1月受験対策
30	短文暗唱テスト8文　出る順で最短合格単熟語EX P80～90	1月受験対策
31	英検2級対策P146～156解答解説 2級過去問題単語テスト	1月受験対策
32	短文暗唱テスト8文　出る順で最短合格単熟語EX P91～101	1月受験対策
33	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
34	短文暗唱テスト8文　出る順で最短合格単熟語EX P102～112	1月受験対策

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	選択必須
学　　年	2年生	担当教員	坂上/小林/ 寺田/
科　目　名	English Strategy 英検準2級	時間数	170単位時間
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業
使用テキスト名	2023年度版　英検準2級過去問題集　英検準2級英単語1550		
補助教材	英検準2級総合対策		

科目概要と科目到達目標

読む、書く、聞く、話すの4技能を習得し準2級取得を目指す

授業の進め方・学習方法・課題

レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる

リスニング対策を定期的に行う

対面授業と遠隔授業の併用実施

評価方法・成績評価基準

①定期試験 50%　②授業への積極的参加(出席率)20%　③提出物　20%　④学習意欲　10%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－70点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	英検準2級総合対策P2～13 英検準2級英単語1550EX P3～13	6月受験対策
2	英検準2級英単語1550　P14～24 リスニング30問	6月受験対策
3	英検準2級過去問題集2019年第1回　解答解説	6月受験対策
4	英検準2級総合対策P14～24　2級過去問題2017長文解答	6月受験対策
5	準2級過去問題集2019年第2回　解答解説　リスニング30問	6月受験対策
6	長文和訳テスト　リスニング暗唱テスト	6月受験対策
7	英検準2級対策P25～35　準2級過去問題2019年第2回長文解説	6月受験対策
8	短文暗唱テスト8文　単熟語テスト100問	10月受験対策
9	英検準2級対策P36～46　準2級過去問題集2020年第1回解答	10月受験対策
10	短文暗唱テスト英検準2級英単語1550 P25～35解答	10月受験対策
11	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　暗唱テスト	10月受験対策
12	英検準2級対策P47～57　準2級過去問題集	10月受験対策
13	短文暗唱テスト8文　英検準2級英単語1550 P36～46	10月受験対策
14	英検準2級総合対策P58～68　2級過去問題集2020年第1回	10月受験対策
15	英検準2級総合対策P69～79　準2級過去問題集2020年第1回解説	10月受験対策
16	短文暗唱テスト　英検準2級英単語1550 P47～57解説	10月受験対策
17	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　　暗唱テスト	10月受験対策
18	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　　暗唱テスト	10月受験対策
19	英検準2級総合対策P91～101 解答解説　リスニング30問	10月受験対策
20	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　リスニング　暗唱テスト	10月受験対策
21	短文暗唱テスト8文　英検準2級英単語1550　P58～68	10月受験対策
22	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　リスニングテスト	1月受験対策
23	英検準2級総合対策P102～112	1月受験対策
24	英検準2級総合対策P113～123 解答解説準2級過去問題単語テス	1月受験対策
25	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　リスニング　暗唱テスト	1月受験対策
26	短文暗唱テスト8文　英検準2級英単語1550 P69～79	1月受験対策
27	英検準2級総合対策P124～134 解答解説	1月受験対策
28	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
29	英検準2級総合対策P135～145解答解説	1月受験対策
30	短文暗唱テスト8文　英検準2級英単語1550 P80～90	1月受験対策
31	英検準2級対策P146～156解答解説 準2級過去問題単語テスト	1月受験対策
32	短文暗唱テスト8文　英検準2級英単語1550 P91～101	1月受験対策
33	単熟語テスト100問　長文和訳テスト　リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
34	単熟語テスト100問　長文和訳テスト	1月受験対策

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	必須
学　　年	2年生	担当教員	北村　裕美
科　目　名	航空ビジネスⅡ	時間数	34単位時間
開講期間	通年	授業形態	対面授業
使用テキスト名	月間エアステージ		
補助教材	ANAグランドスタッフ入門　パワーポイント　スライド		

科目概要と科目到達目標

〇科目概要：航空業界で必要な基礎知識を始め、航空業界で働く人に必要な専門知識を学ぶ。空港ハンドリング整備・出入国・保安関連業務・機内での業務・オフィスでの業務など様々な職種に対応できる科目である。

〇科目到達目標：航空業界で必要な基礎知識と専門知識を習得し、臨機応変に対応できるよう即戦力になるよう小テストやロールプレイなども併せて到達目標とする。

授業の進め方・学習方法・課題

〇航空業界の基礎知識を習得するために、毎回小テストの実施。基礎固めができたら、航空約款から始まり、それぞれの航空会社などポイントをまとめて進めていく。

学習方法としては、毎回小テストなどがあるので基礎知識を理解し習得することが課題である。

評価方法・成績評価基準

①定期試験 50%　②授業への積極的参加(出席率)20%　③提出物　20%　④学習意欲　10%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－70点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

航空会社にてグランドスタッフの国内線、国際線の実務経験あり、航空業界で必要な航空約款や出入国関係法令や専門知識など航空に関わる実務経験7年。

週数	学習内容	学習のねらい
1	現在の航空業界ニュース等	現状の航空業界のサービスなどの情報把握
2	国内航空約款	約款について　航空券について
3	国内航空約款	
4	国内航空約款	航空券について
5	国内航空約款	有効期限
6	国内航空約款	航空券の変更　払戻
7	国内航空約款	航空券の延長
8	国内航空約款	手荷物について
9	国内航空約款	手荷物について
10	国内航空約款	イレギュラーについて
11	国内航空約款	イレギュラーについて
12	航空時刻表の種類と構成	見方
13	テスト	
14	国際航空約款	航空券について
15	国際航空約款	有効期限
16	国際航空約款	航空券の変更　払戻
17	国際航空約款	航空券の延長
18	国際航空約款	手荷物について
19	国際航空約款	イレギュラーについて
20	国際航空約款	イレギュラーについて
21	国際線への知識	イレギュラーについて
22	航空運賃の種類と解説	国内線と国際線の違い
23	出入国の書類の種類と解説	国際線について
24	出入国関係法令・旅券の種類・査証とは	概要・一般旅券　発給と手続
25	通関手続きに関する法令	法令とは
26	CIQについて	様々な職種と役割
27	出国時の旅具通関・帰国時の旅具通関	通関とは
28	免税範囲・関税税率	通関とは
29	輸入禁止品及び輸入規制品	概要
30	外国為替関係法令	概要
31	OAGについて	様々な時刻表の見方他
32	時差と所要時間の計算	計算方法
33	時差と所要時間の計算	計算方法
34	テスト	テストをとおしてまとめる

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	国際エアライン科2年制	必須・選択	必須
学　　年	2年	担当教員	丹田先生
科　目　名	美しい日本語	時間数	17時間
開講期間	前期	授業形態	対面授業
使用テキスト名			
補助教材	パワーポイント		

科目概要と科目到達目標

日本語の多様な語彙や言い回しに触れることで、日常生活やさまざまな場における表現力の向上を目標とする

授業の進め方・学習方法・課題

① 語彙や言い回しについての理解と問題演習（プリント使用）
② 学習した語彙・言い回しを使った例文作り
③ 学習した語彙・言い回しを使った会話練習

評価方法・成績評価基準

①定期試験 50%　②授業への積極的参加(出席率) 30%　③提出物 10%　④学習意欲 10%

【成績評価基準】
A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している
C＝良（79－70点）　到達目標を達成している
D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している
E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	好印象を与える表現①	相手への印象を高めるための表現の理解
2	好印象を与える表現②	相手への印象を高めるための表現の理解
3	依頼の表現①	目上の相手に対する依頼の仕方の理解
4	依頼の表現②	目上の相手に対する依頼の仕方の理解
5	断りの表現①	言いづらいことの伝え方の理解
6	断りの表現②	言いづらいことの伝え方の理解
7	気持ちを伝える表現①	自身の気持ちの丁寧な伝え方の理解
8	気持ちを伝える表現②	自身の気持ちの丁寧な伝え方の理解
9	繰り返しを避ける表現①	同じ言葉の繰り返しを避ける表現の理解
10	繰り返しを避ける表現②	同じ言葉の繰り返しを避ける表現の理解
11	会議や打ち合わせの表現①	会議や打ち合わせで用いる表現の理解
12	会議や打ち合わせの表現②	会議や打ち合わせで用いる表現の理解
13	訪問・宴会・手紙での表現①	訪問時・宴会の場・手紙で用いる表現の理解
14	訪問・宴会・手紙での表現②	訪問時・宴会の場・手紙で用いる表現の理解
15	期末試験	学習内容の修得度の確認
16	季節の言葉・時候の挨拶①	四季それぞれにふさわしい言葉の理解
17	季節の言葉・時候の挨拶②	四季それぞれにふさわしい言葉の理解
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	必須
学　　年	2年生	担当教員	大野　孝予
科　目　名	INFINI　国際線初級・中級	時間数	74単位時間
開講期間	通年	授業形態	対面授業
使用テキスト名	INFINI　Reservation　and Fare Pricing		
補助教材			

科目概要と科目到達目標

〇科目概要：ANAグループ国際線の予約・発券システムです。ANAグループの飛行機の予約・発券についてお役様がインターネット以外でお申込みをされる際は、旅行会社、予約センター他で受け付けておりその際スタッフが
使用する共通の予約発券システムを使用。

〇科目到達目標：1年間で国際線取得に向け授業を進める。また、実技対応として、考えて対応できるスキルを身に付ける。

授業の進め方・学習方法・課題

〇教科書を主体に、基礎知識を身に付けながら、実際PCを活用し習得する方法である。

講師より予め、問題を作成されたものを練習問題とし学生がPCを使って予約・発券に取り組む学習方法。

課題に関して、自宅ではできない為授業時間内にて、説明→PC操作→解答→PC操作など繰り返しすることで身に付けていく。

評価方法・成績評価基準

①定期試験 50%　②授業への積極的参加(出席率)20%　③提出物　20%　④学習意欲　10%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－70点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験　22年間

週数	学習内容	学習のねらい
1	はじめに	国際線について　概要　手続き他
2	1年次の復習	予備知識の確認
3	1年次の復習	予備知識の確認
4	1年次の復習	予備知識の確認
5	予約システムと基本操作	基本操作への理解
6	予約システムと基本操作	基本操作への理解
7	検索	各種コードの検索
8	スケジュール照会	週間・特定便のスケジュール照会
9	フライト予約　空席照会からの予約	予約発券業務への操作の理解　実技演習
10	フライト予約　便名指定による予約	予約発券業務への操作の理解　実技演習
11	旅程の取り消し・挿入・移動	予約発券業務への操作の理解　実技演習
12	旅客データ入力	予約発券業務への操作の理解　実技演習
13	PNRの完了　中断	予約発券業務への操作の理解　実技演習
14	PNRの抽出	予約発券業務への操作の理解　実技演習
15	事前座席指定	予約発券業務への操作の理解　実技演習
16	SSR　特別に配慮のあるお客様情報入力	旅客情報入力
17	小テスト	まとめ
18	SSRの概要	旅客情報入力
19	SSR　機内食　小児　幼児情報	特別運賃料金への理解
20	SSR　旅客データ	運賃計算への理解
21	PNRの分割・PNRのコピー	航空券の有効期限・払戻への知識
22	PNRの分割・PNRのコピー	発券ファイルとは・理解と応用
23	PNRのヒストリー	発券ファイルとは・理解と応用
24	PNRのヒストリー	発券ファイルとは・理解と応用
25	キュー処理概要	問い合わせ概要
26	キュー処理	問い合わせ概要
27	キュー処理フォローアップ	問い合わせ概要
28	キューBOXの編集	問い合わせ概要
29	まとめ	まとめ
30	まとめ	まとめ
31	ロールプレイ	総まとめ　実技
32	ロールプレイ	総まとめ　実技
33	検定対策	検定試験　事前学習
34	検定対策	検定試験　事前学習

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	必須
学　　年	2年生	担当教員	加藤広美
科　目　名	Image MakingⅡ	時間数	68単位時間
開講期間	通年	授業形態	対面授業
使用テキスト名			
補助教材	エアステージ		

科目概要と科目到達目標

科目概要：髪型を含め、受験企業に合わせたメイクの仕方とPTOに合わせたメイクをアレンジできるように技術を身に付ける

科目到達目標：メイク、ヘアアレンジ、身だしなみ、マナーを学び、オフィスで好印象を与えるトータルコーディネートを身に付ける

授業の進め方・学習方法・課題

講師のメイク方法をサンプルとして紹介。講師のガイダンスを参考に自分でメイクを施す

講師による改善指導

評価方法・成績評価基準

①定期試験 10 %　②授業への積極的参加(出席率)60%　③提出物　10%　④学習意欲　20%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－70点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

様々な企業への研修などを実施しており、プロのメイクアップアーティストである。ビジネスマナー用のメイクから、各航空会社へのメイクやヘアアップも担当　実務経験36年

週数	学習内容	学習のねらい
1	はじめに　2年次メイクの授業進度について	
2	効果発表　・自分のメイク	1年次の振り返りと現状把握
3	効果発表　・自分のメイク	1年次の振り返りと現状把握
4	効果発表　・改善点	1年次の振り返りと現状把握
5	効果発表　・改善点	1年次の振り返りと現状把握
6	メイク改善点①	1年次の振り返りと現状把握
7	メイク改善点②	1年次の振り返りと現状把握
8	メイク改善点③	1年次の振り返りと現状把握
9	IMAGE　MAKING　・髪型	印象の良い髪形についての指導
10	IMAGE　MAKING　・髪型	印象の良い髪形についての指導
11	IMAGE　MAKING　・髪型	印象の良い髪形についての指導
12	IMAGE　MAKING　・髪型	印象の良い髪形についての指導
13	IMAGE　MAKING　・髪型	印象の良い髪形についての指導
14	IMAGE　MAKING　・髪型	印象の良い髪形についての指導
15	IMAG　MAKING　・TOTAL　MAKING	印象の良い身だしなみについて
16	IMAG　MAKING　・TOTAL　MAKING	印象の良い身だしなみについて
17	IMAG　MAKING　・TOTAL　MAKING	印象の良い身だしなみについて
18	効果発表　・自分のメイク	セルフメイク
19	効果発表　・自分のメイク	セルフメイク
20	効果発表　・自分のメイク	セルフメイク
21	効果発表　・自分のメイク	セルフメイク
22	効果発表　・自分のメイク	セルフメイク
23	効果発表　・改善点	講師による改善点の指導
24	効果発表　・改善点	講師による改善点の指導
25	効果発表　・改善点	講師による改善点の指導
26	ヘアメイク集中講義①	ヘアアレンジ
27	ヘアメイク集中講義②	ヘアアレンジ
28	ヘアメイク集中講義③	ヘアアレンジ
29	IMAGE　MAKING　・トータル髪型	トータルで印象の良い身だしなみについて
30	IMAGE　MAKING　・トータル髪型	トータルで印象の良い身だしなみについて
31	IMAGE　MAKING　・トータル髪型	トータルで印象の良い身だしなみについて
32	IMAGE　MAKING　・トータル髪型	トータルで印象の良い身だしなみについて
33	トータルコーディネート	受験企業に合わせたメイクと身だしなみ
34	トータルコーディネート	受験企業に合わせたメイクと身だしなみ

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	必須
学　　年	2年生	担当教員	北村　裕美
科　目　名	地理Information Ⅱ	時間数	34単位時間
開講期間	通年	授業形態	対面授業
使用テキスト名	旅にでたくなる日本地図		
補助教材	旅行業実務シリーズ　国内観光地理		

科目概要と科目到達目標

就職先のひとつとして、空港内にあるインフォメーションカウンターに対応できる案内知識を学ぶ。
世界遺産検定や旅行千検定（海外）の取得も目指す

授業の進め方・学習方法・課題

〇引き続き1年次からの、都道府県の観光地を学ぶ
それぞれの分野が終了した段階で小テストなどを重ねて知識をつけていく。
地図帳には、学んだ景観や観光地などをチェックして場所の確認をする。

評価方法・成績評価基準

①定期試験 50%　②授業への積極的参加(出席率)20%　③提出物　20%　④学習意欲　10%

【成績評価基準】
A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している
C＝良（79－70点）　到達目標を達成している
D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している
E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	国内地理　北陸地方①　自然・観光地・その他の情報	
2	国内地理　北陸地方②	都道府県の観光地・資源の知識＆習得
3	確認小テスト	ウィークポイントの把握と確認
4	国内地理　関東地方①　自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識＆習得
5	国内地理　関東地方②　自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識＆習得
6	国内地理　関東地方③　自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識＆習得
7	国内地理　関東地方④自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識＆習得
8	確認小テスト	ウィークポイントの把握と確認
9	国内地理　中部地方①　自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識＆習得
10	国内地理　中部地方②　自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識＆習得
11	国内地理　中部地方③　自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識＆習得
12	確認小テスト	ウィークポイントの把握と確認
13	国内地理　関西地方①　自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識＆習得
14	国内地理　関西地方②　自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識＆習得
15	確認小テスト	ウィークポイントの把握と確認
16	国内地理　山陰地方①　自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識＆習得
17	前期　まとめ	ウィークポイントの把握と確認
18	前期振り返り①	
19	前期振り返り②	
20	国内地理　山陰地方②　自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識＆習得
21	確認小テスト	ウィークポイントの把握と確認
22	国内地理　四国地方①　自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識＆習得
23	確認小テスト	ウィークポイントの把握と確認
24	国内地理　九州・沖縄地方①自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識＆習得
25	国内地理　九州・沖縄地方②自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識＆習得
26	確認小テスト	ウィークポイントの把握と確認
27	旅行プランニング①	新しい視点から見る日本の観光地
28	旅行プランニング②	新しい視点から見る日本の観光地
29	旅行プランニング③	新しい視点から見る日本の観光地
30	旅行プランニング＆プレゼンテーション①	各自観光地のツアープランの提案
31	旅行プランニング＆プレゼンテーション②	各自観光地のツアープランの提案
32	旅行プランニング＆プレゼンテーション③	各自観光地のツアープランの提案
33	総まと①	総括とまとめ
34	総まと②	総括とまとめ

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	必須
学　　年	2年生	担当教員	玉利　樹美枝
科　目　名	面接対応Ⅱ＆企業研究	時間数	17単位時間
開講期間	前期	授業形態	オンライン授業
使用テキスト名			
補助教材	パワーポイント		

科目概要と科目到達目標

科目概要:　希望する業種などを把握し、それぞれの企業に向けた面接指導と企業研究

科目到達目標:就職内定者の排出

授業の進め方・学習方法・課題

航空業界の試験内容と進め方を紹介。また、ESが通過するための極意など航空業界に必要なポイントなどを踏まえ伝授する。課題は自己分析などプリントなどを配布し記入しながら、材料を貯めていく。

評価方法・成績評価基準

①定期試験 50%　②授業への積極的参加(出席率)20%　③提出物　20%　④学習意欲　10%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－70点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

客室乗務員として、国内線・国際線乗務し、様々な国へフライト実績あり。また専門学校講師としての経験あり。

週数	学習内容	学習のねらい
1	1年次からの振返り	自分自身のセルフプレゼンテーション
2	現在の就職活動報告①	それぞれの就職報告
3	航空会社企業研究①	企業の求める人材を確認
4	航空会社企業研究②	企業の求める人材を確認
5	人となりからの面接質問	面接官は何を見ているのか？
6	人となりからの面接質問	面接官は何を見ているのか？
7	お互いを面接する	客観的に自分を見る
8	JAL・ANAの違い	
9	面接模擬テスト	集団面接
10	面接模擬テスト	集団面接
11	グループディスカッション	・グループディスカッションとは？
12	グループディスカッション	・グループディスカッションとは？
13	グループディスカッション　と　ワークショップ	・グループディスカッションとは？
14	グループディスカッション　と　ワークショップ	ワークショップから受験を見え方
15	前期　面接模擬テスト	集団面接
16	前期　面接模擬テスト	集団面接
17	まとめ	まとめ
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	必須
学　　年	2年生	担当教員	北村裕美
科　目　名	グランドスタッフ実習Ⅱ	時間数	17単位時間
開講期間	後期	授業形態	対面授業
使用テキスト名			
補助教材	パワーポイント		

科目概要と科目到達目標

科目概要:　1年次の基礎知識を基礎に、グランドスタッフが実際に働いている内容の対応を学ぶ

科目到達目標:仕事内容を理解する

授業の進め方・学習方法・課題

シラバスに沿った内容で、主にロールプレイを中心に実施。ビデオ撮影などをしながら、客観的に見ることでどのような対応がいいのかチェックする。また、実際の現場での対応力も必要となるので専門的な知識と実務を身に付けながら習得する・

評価方法・成績評価基準

①定期試験 50%　②授業への積極的参加(出席率)20%　③提出物　20%　④学習意欲　10%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－70点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	グランドスタッフの資質とは　1年次復習	どんな人柄が求められるか
2	グランドスタッフの仕事内容	仕事内容を理解する
3	GSの仕事の役割　1日の仕事内容	GSの仕事の重要性　1日のスケジュールから体力勝負の仕事である
4	チェックイン前にやらなければならないこと	事前準備
5	飛行機に関する基礎知識	専門知識の把握
6	飛行機が飛ぶ原理	専門知識の把握
7	GSに必要な専門知識	専門知識の把握
8	BAG受託について	様々な手荷物についての対応
9	ロールプレイ	実務を学ぶ
10	checkイン	座席指定について
11	GATE業務	仕事内容を理解する
12	特別旅客の対応	車椅子PAX
13	特別旅客の対応	車椅子PAX
14	特別旅客の対応	BLND
15	ロールプレイ	ロールプレイ
16	ロールプレイ	ロールプレイ
17	まとめ	
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	必須
学　　年	2年生	担当教員	富樫先生
科　目　名	客室乗務員実習	時間数	17単位時間
開講期間	後期	授業形態	対面授業
使用テキスト名			
補助教材	パワーポイント		

科目概要と科目到達目標

客室乗務員になる為の資質から始まり、仕事内容（保安要員とｻｰﾋﾞｽ要員）を把握する。
また、それぞれの仕事内容を項目に沿って学ぶことで専門的知識を学び身に付けることができる。
到達目標としては、翌年の就職活動に少しでも活用できるよう自分自身が働いていることをイメージし何が客室
として合っているのか把握する。

授業の進め方・学習方法・課題

項目に沿って進めていく。学習方法としは、それぞれ知識を学びそれを実技で落としいくものとする。

評価方法・成績評価基準

①定期試験 50%　②授業への積極的参加(出席率)20%　③提出物　20%　④学習意欲　10%

【成績評価基準】
A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している
C＝良（79－70点）　到達目標を達成している
D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している
E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	自己紹介、客室乗務員について	CAの役割を知る
2	客室乗務員の仕事内容	仕事内容の把握
3	保安知識①	保安要員としての役割を知る
4	保安知識②	保安要員としての役割を知る
5	客室業務員のリアル	現役のスケジュールとステイ先での過ごし方など
6	お土産、免税について	機内販売を含む免税についての知識を得る
7	LCCについて	LCCの特徴を知る
8	機内サービスの流れと、食事などについて	サービスについての学習
9	JAL現役CAとのQ&A	実際のCAとZOOMで対面し、士気を高める
10	ハワイ便	色々なサービスの工夫があることを学ぶ
11	コロナ禍のサービスなどについて	コロナ禍での取り組みなど
12	外資系CAについて	海外のCAの特徴、生活などについて
13	機内での本当の話集	芸能人、有名人、スポーツ選手など
14	グループディスカッション　と　ワークショップ	ワークショップから受験を見え方
15	前期　CA面接模擬テスト	集団面接
16	前期　CA面接模擬テスト	集団面接
17	まとめ	まとめ
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	必須
学　　年	2年生	担当教員	北村裕美
科　目　名	手話Ⅱ	時間数	68単位時間
開講期間	通年	授業形態	対面授業
使用テキスト名	ゼロからわかる手話入門		
補助教材	パワーポイント		

科目概要と科目到達目標

手話検定試験3級取得に向けた授業展開

⇒基本的な手話表現力ができる　あいさつ、自己紹介、趣味について相手に尋ねたり答えたりすることができる。

⇒更に、お店や窓口で簡単な接客の会話や日付や時刻、金額など数字の入った表現ができる。

授業の進め方・学習方法・課題

手話検定3級取得に向けて、検定対策の単語学習・ロールプレイの実施。手話も言語のひとつということから楽しく手話を学んでいく。

評価方法・成績評価基準

①定期試験　50%　②授業への積極的参加(出席率)20%　③提出物　20%　④学習意欲　10%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－70点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	手話検定5級の復習	振返り
2	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語を習得
3	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語を習得
4	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語を習得
5	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語を習得
6	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語を習得
7	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語＆長文を習得
8	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語＆長文を習得
9	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語＆長文を習得
10	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語＆長文を習得
11	手話検定試験4級取得への道	過去問題①
12	手話検定試験4級取得への道	過去問題②
13	手話検定試験4級　検定日	検定日
14	手話を使いながら、ロールプレイ　空港	チェックイン・手荷物
15	手話を使いながら、ロールプレイ　空港	GATE対応
16	手話を使いながら、ロールプレイ　ホテル	フロント　案内
17	手話を使いながら、ロールプレイ　ホテル	お客様対応　レストラン
18	手話検定4級の復習	振返り
19	手話検定試験3級取得への道	手話3級単語を習得
20	手話検定試験3級取得への道	手話3級単語を習得
21	手話検定試験3級取得への道	手話3級単語を習得
22	手話検定試験3級取得への道	手話3級単語を習得
23	手話検定試験3級取得への道	手話4級単語＆長文を習得
24	手話検定試験3級取得への道	手話4級単語＆長文を習得
25	手話検定試験3級取得への道	手話4級単語＆長文を習得
26	手話検定試験3級取得への道	手話4級単語＆長文を習得
27	手話検定試験3級取得への道	手話5級単語＆長文を習得
28	手話検定試験3級取得への道	手話6級単語＆長文を習得
29	手話検定試験3級取得への道	手話7級単語＆長文を習得
30	手話で発表してみよう	発表
31	手話で発表してみよう	発表
32	手話で発表してみよう	発表
33	検定試験	
34	まとめ	

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	必須
学　　年	2年生	担当教員	北村　裕美
科　目　名	マナープロトコール	時間数	17単位時間
開講期間	通年	授業形態	オンライン授業
使用テキスト名	マナープロトコール		
補助教材	パワーポイント		

科目概要と科目到達目標

科目概要：日本のマナーを習得した上で、国際的マナーの習得

科目到達目標：マナープロトコール検定3級取得を目指す

授業の進め方・学習方法・課題

1年次で秘書検定のマナーを学んだことを基本に、世界的なマナーを習得する。

各章で学んだことを小テストなどで確認作業の実施

評価方法・成績評価基準

①定期試験　30%　②授業への積極的参加(出席率)30%　③提出物　20%　④学習意欲　20%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－70点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

航空会社にてグランドスタッフの国内線、国際線の実務経験あり、航空業界から得たマナーなど、社会人にて必要なビジネスマナー対応など関わる実務経験7年。マナープロトコール協会より認定講師

週数	学習内容	学習のねらい
1	序章　プロトコール概要	マナー　エチケッ　礼儀　作法違い
2	第1章　マナーの歴史と意味	日本の礼儀　西洋作法の成り立ち
3	第2章　国際人としてのプロトコール	プロトコールの原則
4	第5章　食事のマナー	食事の作法　和食　西洋など
5	第5章　食事のマナー	食事の作法　和食　西洋など
6	第7章 「冠」のしきたり	冠婚葬祭とは
7	第7章 「冠」のしきたり	冠婚葬祭とは
8	第8章 「婚」のしきたり	結婚の変遷
9	第8章 「婚」のしきたり	結婚の変遷
10	第9章 「葬」のしきたり	葬のしきたり
11	第9章 「葬」のしきたり	葬のしきたり
12	第10章 「祭り」のしきたり	祭りのしきたり
13	第10章 「祭り」のしきたり	祭りのしきたり
14	過去問題	
15	過去問題	
16	過去問題	
17	検定試験　3級受験	
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	全学科	必須・選択	選択必修
学　　年	2年生	担当教員	柳・宇都宮
科　目　名	韓国語Ⅱ	時間数	68
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業
使用テキスト名	基礎から学ぶ韓国語講座　初級　改訂版		
補助教材			

科目概要と科目到達目標

科目概要：韓国語の基礎を学び挨拶などのコミュニケーションがとれるようにする

科目到達目標：ﾊﾝｸﾞﾙ能力検定試験　5級取得

授業の進め方・学習方法・課題

テキストに沿って問題を進めていき、ワークブックの問題を解く

評価方法・成績評価基準

①定期試験50%　②授業への積極的参加20%　③提出物20%　④学習意欲10%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－70点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	韓国語について	文字、基本的な発音の習得
2	基本の母音	母音の特徴を学ぶ
3	基本の子音	子音の特徴を学ぶ
4	合成母音	母音の種類について学ぶ
5	パッチム	位置や場所を話すことができる
6	文字の復習	文字についての総まとめ
7	基本的なフレーズと挨拶	挨拶の種類とフレーズを使う
8	第1課　私は浅井ゆかりです	自己紹介ができる
9	第2課　出身はソウルですか	出身地について学ぶ
10	第3課　図書館ではありません	時間を話す
11	第4課　時間がありますか	日にちを話す
12	第5課　何をしますか	やりたいことを伝える
13	第6課　貿易会社で働いています	仕事について話す
14	第7課　服を買います	予定について話す
15	前期　復習①	テキストの復習
16	前期　復習②	テキストの復習
17	前期試験	
18	第8課　スーパーでよく買います①	買い物に必要なことを話す
19	第8課　スーパーでよく買います②	旦体が作れる
20	第9課　1万ウォンです①	お金について学ぶ
21	第9課　1万ウォンです②	お釣りについて学ぶ
22	ﾊﾝｸﾞﾙ能力試験5級検定対策　①	模擬問題を解く
23	ﾊﾝｸﾞﾙ能力試験5級検定対策　②	模擬問題を解く
24	ﾊﾝｸﾞﾙ能力試験5級検定対策　③	模擬問題を解く
25	ﾊﾝｸﾞﾙ能力試験5級検定対策　④	模擬問題を解く
26	第10課　今、何時ですか①	時間について話す
27	第10課　今、何時ですか②	時間について話す
28	第11課　日本語を話されますか①	第3者に紹介する
29	第11課　日本語を話されますか②	よりフォーマルな場で自己紹介する
30	第12課　バスは行きません①	乗り物について話す
31	第12課　バスは行きません②	乗り物について話す
32	後期　復習①	テキストの復習
33	後期　復習②	テキストの復習
34	後期試験	

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	選択必修
学　　年	2年生	担当教員	富田朋美
科　目　名	中国語Ⅱ	時間数	68単位時間
開講期間	通年	授業形態	対面授業
使用テキスト名	新・ゼロから学ぶ中国語　検定試験合格への道のり		
補助教材			

科目概要と科目到達目標

科目概要：文法の確認を中心にしながら基礎を学び、挨拶や自己紹介、買い物や旅行等、
中国で通じる中国語の習得を目指す
科目到達目標：中国語検定4級

授業の進め方・学習方法・課題

文法を確認しながら、日常生活で通用通用する中国語を学ぶ

評価方法・成績評価基準

①定期試験・検定合格 40% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物 20% ④学習意欲 10%

【成績評価基準】
A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している
C＝良（79－70点）　到達目標を達成している
D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している
E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	第9课 一共多少钱？	選択疑問文の使い方を覚える
2	第9课 一共多少钱？	金額の言い方を覚える
3	第9课 一共多少钱？	動詞の重ね型を覚える
4	第10课 大学里有书店	存在を表す「在」と「有」の使い分け
5	第10课 大学里有书店	「的」の用法を覚える
6	第10课 大学里有书店	連動文を覚える
7	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
8	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
9	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
10	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
11	第11课 我去过中国	助動詞の使い方を覚える
12	第11课 我去过中国	経験を表す言葉を覚える
13	第11课 我去过中国	「（是）～的」の文を覚える
14	第12课 我家在做作业呢	現在進行形を覚える
15	第12课 我家在做作业呢	時間量を覚える
16	第12课 我家在做作业呢	比較の表現を覚える
17	第13课 我家离大学不太远	前置詞の種類を覚える
18	第13课 我家离大学不太远	前置詞の使い分けを覚える
19	第13课 我家离大学不太远	「怎么」と「怎么样」の使い分けを知る
20	第14课 我得打工	助動詞の使い方を覚える
21	第14课 我得打工	二重目的語を持つ動詞を覚える
22	第14课 我得打工	二重目的語を持つ動詞の文を作る
23	第15课　我们快放假了	未来形を覚える
24	第15课　我们快放假了	未来形を入れた文を作る
25	第15课　我们快放假了	程度を表す助詞「得」の文を覚える
26	中国語検定4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
27	中国語検定4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
28	中国語検定4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
29	中国語検定4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
30	一問一答①	質問を聞いて、即答できるようになる
31	一問一答②	質問を聞いて、即答できるようになる
32	一問一答③	質問を聞いて、即答できるようになる
33	期末テスト	
34	振り返り	

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	必須
学　　年	2年生	担当教員	NIEL・MAYA
科　目　名	English for Hospitality	時間数	34単位時間
開講期間	通年	授業形態	対面授業
使用テキスト名	Hospitality English		
補助教材			

科目概要と科目到達目標

実際のエアライン会社が研修で使用しているテキストを用い、英語での様々なシチュエーションに対応するための実践力をリスニング・スピーキング・ロールプレイを通して会得する。

授業の進め方・学習方法・課題

教科書を用いて単語、リスニング、スピーキング、ロールプレイを行い、インプットとアウトプット力を身に着ける

評価方法・成績評価基準

①定期試験50%　②授業への積極的参加20%　③提出物20%　④学習意欲10%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－70点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	UNIT01:Ticketing for a Domestic Flight.①	空港内での英語対応を学習する
2	UNIT02:Ticketing for a Domestic Flight.②	
3	UNIT02:Domestic Flight Check-in①	チェックイン時の英語対応を学習する
4	UNIT02:Domestic Flight Check-in②	
5	Review: Domestic Flight Dialogue	
6	UNIT03:International Flight Check-in ①	
7	UNIT03:International Flight Check-in ②	
8	Review: International Flight Check-in Dialogue	
9	UNIT04: Airport Lounge Service①	ラウンジと乗換時の英語対応を学習する
10	UNIT04: Airport Lounge Service②	
11	UNIT05: Assisting Transit Passengers①	
12	UNIT05: Assisting Transit Passengers②	
13	UNIT06: Baggage Issues①	荷物引取時の英語対応を学習する
14	UNIT06: Baggage Issues②	
15	UNIT07: Welcome Aboard①	搭乗時の英語対応を学習する
16	UNIT07: Welcome Aboard②	
17	Review：Dealing with customers	復習：お客様対応のロールプレイを行う
18	UNIT08: Before Takeoff①	機内サービスの英語対応を学習し、ロールプレイを実践する
19	UNIT08: Before Takeoff②	
20	UNIT09 In-flight Service①	
21	UNIT09 In-flight Service②	
22	Roleplay: In-flight service	
23	UNIT10: In-flight Sales①	
24	UNIT10: In-flight Sales②	
25	Roleplay: In-flight sales	
26	UNIT11:Passenger Care①	
27	UNIT11:Passenger Care②	
28	Roleplay: Passenger Care	
29	UNIT12: Before Landing①	離陸時の英語対応を学習する
30	UNIT12: Before Landing②	
31	Roleplay:Before Landing	
32	Review: Roleplay from Airport Lounge Service	ロールプレイの復習をする
33	Review: Roleplay from Welcome Abroad	
34	Evalluation: Roleplay	ロールプレイを行い、実技にて評価を付ける

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	必須
学　　年	2年生	担当教員	阿部塊地
科　目　名	Pronouciation Ⅱ	時間数	17単位時間
開講期間	前期	授業形態	対面授業
使用テキスト名	Sounds Like American		
補助教材			

科目概要と科目到達目標

科目概要：アメリカ英語の発音、ストレス、イントネーション、リズムを学び、ネイティブスピーカーとのコミュニケ―ションで通用する英語力を身に付ける。

科目到達目標：

授業の進め方・学習方法・課題

CDに合わせて、音の上げ下げ・区切る位置・長さや強弱など、英語の音の特徴を再現できるよう練習する

〇対面授業と遠隔授業の併用実施

評価方法・成績評価基準

①定期テストの点数30%　②発音の正確さ30%、③出席率20%、④授業態度20%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－70点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	Unit 1. ネイティブ発音への道	ネイティブ発音の理解・実践・習得
2	Unit 2. 英語のアクセントとリズム	ネイティブ発音の理解・実践・習得
3	Unit 3. ナチュラルな発音を目指して	ネイティブ発音の理解・実践・習得
4	Unit 4. 母音の発音	ネイティブ発音の理解・実践・習得
5	Unit 5. Tの発音	ネイティブ発音の理解・実践・習得
6	Unit 6. Lの発音	ネイティブ発音の理解・実践・習得
7	Unit 7. Rの発音	ネイティブ発音の理解・実践・習得
8	Unit 8. 長い語句のアクセント	ネイティブ発音の理解・実践・習得
9	Unit 9. 応用練習	ネイティブ発音の理解・実践・習得
10	Unit 10. V, TH, S/Zの発音	ネイティブ発音の理解・実践・習得
11	Unit 11. M, N, NGの発音	ネイティブ発音の理解・実践・習得
12	Unit 12. H, N, NGの発音	ネイティブ発音の理解・実践・習得
13	Unit 13. 長い分をリズミカルに読む	ネイティブ発音の理解・実践・習得
14	Unit 14. 態度や感情を表すイントネーション	ネイティブ発音の理解・実践・習得
15	Review	ネイティブ発音の理解・実践・習得
16	Asessment	評価
17	発表	まとめ
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	必須
学　　年	2年生	担当教員	坂上啓貴
科　目　名	貿易実務Ⅱ	時間数	17単位時間
開講期間	後期	授業形態	対面授業
使用テキスト名	マンガでわかる貿易実務のきほん		
補助教材			

科目概要と科目到達目標

輸出・輸入について学び、就職後貿易実務を実践的に使用できるようになる。
輸出入の際に留意すべき点や航空業界で実践的に使用できる知識をつける。
最終的にINVOICE、PACKING LISTが作成できるようになる。

授業の進め方・学習方法・課題

テキストに従って進めるととも、PCを用いて書類を作成していく。

評価方法・成績評価基準

①定期試験50%　②授業への積極的参加20%　③提出物20%　④学習意欲10%

【成績評価基準】
A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している
C＝良（79－70点）　到達目標を達成している
D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している
E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	貿易のしくみを知る	貿易の基本を知る
2	貿易実務とは	貿易の基本を知る
3	輸出者（輸出企業）	貿易の基本を知る
4	輸入車（輸入企業）	貿易の基本を知る
5	船会社・航空会社・混載業者	貿易の基本を知る
6	ドレー会社・検量機関	貿易の基本を知る
7	貿易条件を決める	貿易の基本を知る
8	貿易取引にかかわる法律	貿易の基本を知る
9	輸送方法の選定	貿易の基本を知る
10	航空輸送の基本と種類	貿易の基本を知る
11	航空運賃のしくみ	貿易の基本を知る
12	Invoice（送り状）について	実践的知識の習得
13	サンプルInvoice作成	実践的知識の習得
14	Packing List作成	実践的知識の習得
15	サンプルPacking List作成	実践的知識の習得
16	通関手続きの基本	実践的知識の習得
17	Air Waybillの流れ	実践的知識の習得
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	必須
学　　年	2年生	担当教員	矢後　達夫
科　目　名	マーケティング	時間数	34単位時間
開講期間	通年	授業形態	対面授業
使用テキスト名	JTB総研 「観光のマーケティング・マネジメント」		
補助教材	パワーポイントスライド		

科目概要と科目到達目標

観光産業の人材育成のため、観光マーケティング理論・知識を習得する。

観光以外の職業に就いたとしてもマーケティングの様々な課題を解決出来る知識を身に付ける。

授業の進め方・学習方法・課題

テキストを中心に「観光マーケティング」の仕組みや考え方を学ぶ。

通期の後半で、外部講師による「マーケティング」の実社会での取り組み等の講義を予定。

前期テスト（レポート）、後期テスト（選択・記述式）

評価方法・成績評価基準

①定期試験50%　②授業への積極的参加20%　③提出物20%　④学習意欲10%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－70点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

旅行会社にて、カウンターを含む旅行渉外営業、旅行企画手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験　10年間

週数	学習内容	学習のねらい
1	オリエンテーション①	授業導入の狙いと年間計画等について
2	観光の重要性	マーケティングの重要性と概念を理解する
3	観光マーケティングの概念	マーケティングの重要性と概念を理解する
4	マーケティング発想（課題有）	マーケティングの重要性と概念を理解する
5	BTMについて	マーケティングの重要性と概念を理解する
6	顧客ニーズについて	マーケティングの重要性と概念を理解する
7	リッツカールトンの感動サービス	マーケティングの重要性と概念を理解する
8	顧客価値とメカニズム	マーケティングの重要性と概念を理解する
9	サービスの定義と特性	マーケティングの重要性と概念を理解する
10	個人マーケット	観光マーケットと購買行動を学ぶ
11	団体マーケット	観光マーケットと購買行動を学ぶ
12	購買プロセス	観光マーケットと購買行動を学ぶ
13	価格弾力性	観光マーケットと購買行動を学ぶ
14	成功の鍵を見つける手段①	環境分析について手法を学ぶ
15	成功の鍵を見つける手段②	環境分析について手法を学ぶ
16	JR東日本のエキナカビジネス	環境分析について手法を学ぶ
17	・外部講師（講演予定）16関連・レポート	環境分析について手法を学ぶ
18	市場の細分化とターゲット設定	競争分析について手法を学ぶ
19	ポジショニングについて（スターフライヤー）	競争分析について手法を学ぶ
20	マーケティング基本戦略	競争分析について手法を学ぶ
21	多様化するニーズへの対応	商品のマネジメントについて理解する
22	JALパック誕生	商品のマネジメントについて理解する
23	ライフサイクル	価格マネジメントについて理解する
24	航空郵送から見た価格設定①	価格マネジメントについて理解する
25	航空郵送から見た価格設定②	価格マネジメントについて理解する
26	企業戦略①	価格マネジメントについて理解する
27	企業戦略②	価格マネジメントについて理解する
28	海外旅行商材	流通チャネルのマネジメントを知る
29	流通チャネルについて	流通チャネルのマネジメントを知る
30	消費者へのメッセージ	流通チャネルのマネジメントを知る
31	メディア戦略	流通チャネルのマネジメントを知る
32	インバウンドマネジメント（外部講師予定）	プロモーションマネジメントを理解する
33	ホスピタリティーマネジメント	プロモーションマネジメントを理解する
34	年度末テスト	習熟度確認

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	必須
学　　年	2年生	担当教員	小林先生
科　目　名	Japanese Cultures	時間数	34単位時間
開講期間	通年	授業形態	対面授業
使用テキスト名			
補助教材			

科目概要と科目到達目標

科目概要：日本文化研究で学んだ知識を参考に、日本文化を英語でどのように紹介するかを学びながら、プレゼンテーションスキルを身に付ける。

科目到達目標：実際に外国人の前で日本文化を説明し、質問に対応する

授業の進め方・学習方法・課題

日本文化研究で調べた情報を英語に翻訳

想定される質問を含めて、プレゼンテーションスキルを身に付ける

評価方法・成績評価基準

①定期試験　50 %　②授業への積極的参加(出席率)20%　③提出物　20%　④学習意欲　10%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－70点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	第1章　文化	浮世絵、狂言、きもの、書道、いけばなについて
2	第1章　文化	
3	第1章　文化	
4	第1章　文化	
5	第1章　文化	剣道、神社、祭り
6	第1章　文化	
7	第1章　文化	
8	第2章　食べ物・飲み物	
9	第2章　食べ物・飲み物	ゆかた、こたつ、正月、葬式、見合い
10	第2章　食べ物・飲み物	
11	第2章　食べ物・飲み物	
12	第2章　食べ物・飲み物	
13	第2章　食べ物・飲み物	家紋、盆栽、風呂敷、扇子
14	第2章　食べ物・飲み物	
15	第2章　食べ物・飲み物	
16	Assessment	
17	Assessment	忍者、皇室、切腹、将軍、温泉、花火
18	第3章　歴史・観光	
19	第3章　歴史・観光	
20	第3章　歴史・観光	
21	第3章　歴史・観光	
22	第3章　歴史・観光	地下鉄、駅弁、侍、城、東京、京都
23	第3章　歴史・観光	
24	第3章　歴史・観光	
25	第4章　その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	
26	第4章　その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	年賀状、おもてなし、梅雨、建国記念日、わびさび、マンガ
27	第4章　その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	
28	第4章　その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	
29	第4章　その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	
30	第4章　その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	自衛隊、カラオケ、駄菓子、塾
31	第4章　その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	
32	第4章　その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	
33	Assessment	
34	Assessment	

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	必須
学　　年	2年生	担当教員	中林幸恵
科　目　名	異文化理解	時間数	17単位時間
開講期間	前期	授業形態	オンライン授業
使用テキスト名			
補助教材	パワーポイント		

科目概要と科目到達目標

異文化比較と理解を進め多様性社会への対応力を高める

授業の進め方・学習方法・課題

授業前半は教材に沿って「異文化」とは「コミュニケーションとは」を学ぶ
授業後半は異文化間で生じる問題についてグループワークで話し合い
問題解決を模索する。

評価方法・成績評価基準

①定期試験　50　%　　②授業への積極的参加(出席率)20%　③提出物　10%　　④学習意欲10%

【成績評価基準】
A＝秀（100－90点）　　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
B＝優（89－80点）　　達成目標を十分に達成している
C＝良（79－70点）　　到達目標を達成している
D＝可（69－60点）　　到達目標を最低限達成している
E=不可（59点以下）　　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	イントロダクション 異文化理解のすすめ	なぜ異文化理解が必要なのかを学ぶ
2	異文化コミュニケーション① ～文化とは何か～	文化とは何かを学ぶ
3	異文化コミュニケーション② ～自文化への気付き	自分を振り返る
4	異文化コミュニケーション③ ～異文化適応～	異文化について適応段階を学ぶ
5	異文化コミュニケーション④ ～発想の転換～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
6	異文化コミュニケーション⑤ ～発想の転換～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
7	文化・文明の衝突①　～異文化に対する偏見 ～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
8	文化・文明の衝突②　～差別と異文化理解～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
9	文化・文明の衝突③　～世界の価値観～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
10	文化・文明の対話①　～文化背景の違い～日本編	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
11	文化・文明の対話②　～文化背景の違い～他国編	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
12	文化・文明の対話③　～異文化の受容～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
13	文化・文明の対話④　～非言語コミュニケーション～ケーススタディ	非言語の重要性を知り、理解を深める
14	文化・文明の対話⑤　～非言語コミュニケーションの種類～	非言語の重要性を知り、理解を深める
15	文化・文明の対話⑥　～多文化共生社会への参画～	多文化共生社会についてグループで話し合う
16	文化・文明の対話⑦　～多文化共生社会への参画～発表	多文化共生社会についてグループで発表する
17	期末試験	
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	必須
学　　年	2年生	担当教員	北村　裕美
科　目　名	就職実務Ⅱ	時間数	34単位時間
開講期間	通年	授業形態	対面授業
使用テキスト名	勝つための就職ガイドSUCCESS 最新最強の一般常識　最新最強のSPI		
補助教材			

科目概要と科目到達目標

科目概要:就職活動に必要な自己分析、書類作成、面接指導を行う

科目到達目標:就職試験に向けて、履歴書の内容を自分の言葉で自分らしく伝えられ、

希望先企業への内定が目標。

授業の進め方・学習方法・課題

就職試験の為の一般常識問題、SPI対策を中心に、模擬面接、グループディスカッションを行い、

面接試験に備える。

対面授業と遠隔授業の併用実施

評価方法・成績評価基準

①一般常識テスト30%②書類作成の理解度10%③出席率50%④面接対策10%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－70点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	SUCCESS P59～62企業訪問について①質問事	就職活動の心構え
2	SUCCESS P63 企業訪問のお礼状について	お礼状の書き方
3	最新最強の一般常識　総合問題	一般常識問題対策
4	個人面接練習　実践	面接時のマナーの理解
5	SUCCESS P66 就職試験のマナー	面接時のマナーの理解
6	SUCCESS P67 控室でのマナー	面接時のマナーの理解
7	SUCCESS P68～69 椅子の座り方、お辞儀の仕	立ち居振舞について
8	最新最強の一般常識　総合問題	一般常識問題対策
9	最新最強の一般常識　総合問題	一般常識問題対策
10	SUCCESS P70 面接試験対策　①面接試験の形	面接対策
11	個人面接　①受験者1に対して面接官１人②受験	面接対策
12	個人面接練習　実践	面接時のマナーの理解
13	個人面接練習　実践	面接時のマナーの理解
14	個人面接練習　実践	面接時のマナーの理解
15	SUCCESS P71 面接試験対策　①集団面接につ	集団面接で大切なこと
16	SUCCESS P71 面接試験対策　①グループディス	グループディスカッション
17	集団面接練習　実践	面接練習のコツ
18	集団面接練習　実践	面接練習のコツ
19	グループディスカッション　実践	模擬グループディスカッション
20	グループディスカッション　実践	模擬グループディスカッション
21	グループディスカッション　実践	模擬グループディスカッション
22	SUCCESS P79圧迫面接の対処法	圧迫面接時の対処法とは
23	スピーチの訓練	人前での1分間のスピーチのポイント
24	スピーチの実践演習	実践1分間のスピーチのポイント
25	適性検査について	業界によって違う検査の特徴
26	適性検査の種類と内容	業界によって違う検査の特徴
27	受験後の報告	入社承諾書、お礼状の書き方
28	最新最強の一般常識　非言語能力問題	SPI対策問題
29	最新最強の一般常識　非言語能力問題	SPI対策問題
30	最新最強の一般常識　非言語能力問題	SPI対策問題
31	最新最強の一般常識　言語能力問題	SPI対策問題
32	最新最強の一般常識　言語能力問題	SPI対策問題
33	最新最強の一般常識　言語能力問題	SPI対策問題
34	最新最強の一般常識　言語能力問題	SPI対策問題

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	国際エアライン科(2年制)	必須・選択	選択必須
学　　年	2年生	担当教員	阿部/北村/坂上/矢後
科　目　名	国際理解Ⅱ	時間数	68単位時間
開講期間	通年	授業形態	対面授業
使用テキスト名			
補助教材			

科目概要と科目到達目標

SDGsの「未来を変える目標」を理解し、実現するためにはどのような行動をすべきか考える。
ゴール11「住み続けられるまちづくりを」を全校の共通課題テーマに設定し、
「社会」「経済」「環境」の3要素を調和させた問題解決策を提案する。
また、日本だけではなく世界各地の取り組みも取り上げ、日本と比較しながら
世界の未来について自分が起こせるアクションを考え、行動していく。

授業の進め方・学習方法・課題

前期では、新潟県のゴール11「住みやすいまちづくり」について、持続可能にするためには
どのような工夫や行動が必要かグループで議論する。問題解決のための企業連携を模索する。
後期では、前期で出てきた活動案を企業・団体と共に実行に移し、振り返りを行う
PDCAサイクルを年間を通して意識し、グループワークを行う。

評価方法・成績評価基準

①発表内容40%　②授業への積極的参加(出席率)30%　③提出物20%　④学習意欲10%

【成績評価基準】
A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している
C＝良（79－70点）　到達目標を達成している
D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している
E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	オリエンテーション	授業の到達目標について理解する
2	地域にあるSDGs問題①	自分の身の回りにあるSDGsの問題を考える
3	地域にあるSDGs問題②	積極的に取り組んでいる地域企業やグループを調査
4	地域にあるSDGs問題③	参加可能なイベントを調査
5	役割分担	役割分担を行い効率的な活動につなげる
6	地域の問題を解決するための行動とは①	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
7	地域の問題を解決するための行動とは②	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
8	地域の問題を解決するための行動とは③	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
9	イベント企画案や広報案の提示①	企業や自治体への働き掛け
10	イベント企画案や広報案の提示②	企業や自治体への働き掛け
11	活動①	1回目　SDGs問題解決のための活動
12	活動②	1回目　SDGs問題解決のための活動
13	活動③	1回目　SDGs問題解決のための活動
14	活動の振り返り①	活動の問題提起　振り返り
15	活動の振り返り②次回への提案	改善点の提起
16	活動④	2回目　SDGs問題解決のための活動
17	活動⑤	2回目　SDGs問題解決のための活動
18	活動⑥	2回目　SDGs問題解決のための活動
19	活動の振り返り③	活動の問題提起　振り返り
20	活動の振り返り④次回への提案	改善点の提起
21	活動⑦	3回目　SDGs問題解決のための活動
22	活動⑧	3回目　SDGs問題解決のための活動
23	活動⑨	3回目　SDGs問題解決のための活動
24	活動の振り返り⑤	活動の問題提起　振り返り
25	活動の振り返り⑥	改善点の提起
26	活動内容の報告、発表準備①	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
27	活動内容の報告、発表準備②	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
28	活動内容の報告、発表準備③	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
29	活動内容の報告、発表準備④	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
30	発表①	一年の活動報告
31	発表振り返り	
32	来年度への提言①	来年度の企画立案
33	来年度への提言②	来年度の企画立案
34	来年度への提言③	来年度の企画立案

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	全科	必須・選択	選択必須
学　　年	2年	担当教員	中林幸恵
科　目　名	初級手話	時間数	17単位時間
開講期間	後期	授業形態	対面授業
使用テキスト名	ゼロからわかる手話入門		
補助教材	パワーポイント		

科目概要と科目到達目標

手話検定試験6級取得に向けた授業展開

⇒基本的な手話表現力ができる　あいさつ、自己紹介、趣味について相手に尋ねたり答えたりすることができる

⇒更に、お店や窓口で簡単な接客の会話や日付や時刻、金額など数字の入った表現ができる。

授業の進め方・学習方法・課題

手話で自己紹介ができるよう、基礎的な手話授業実施。

指文字・挨拶・数字など、ちょっとした接客会話ができるようロールプレイ実施

〇対面授業と遠隔授業の併用実施

評価方法・成績評価基準

①定期試験　15 %　②授業への積極的参加(出席率)40%　③提出物　5%　④学習意欲30%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－70点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	オリエンテーション	手話の基礎知識　（目指すもの・評価・検定）　自己紹介
2	自己紹介①	名前　あいさつ　指文字
3	自己紹介①	名前　あいさつ　指文字
4	自己紹介①	名前　あいさつ　指文字
5	自己紹介②	誕生日　星座　数　年齢　指文字
6	自己紹介②	誕生日　星座　数　年齢　指文字
7	自己紹介②	誕生日　星座　数　年齢　指文字
8	自己紹介③	年齢　月日　曜日　指文字
9	自己紹介③	年齢　月日　曜日　指文字
10	都道府県①	北海道～北陸地方
11	都道府県②	関東地方～中国地方
12	都道府県③	山陰地方～沖縄地方
13	都道府県④	確認チェック
14	ゲーム	都道府県カルタ
15	簡単接客手話	挨拶・ご案内他
16	まとめ	まとめ
17	期末試験	手話検定試験6級レベル
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	全科	必須・選択	選択必須
学　　年	2年生	担当教員	坂上啓貴
科　目　名	映画で学ぶ文化・歴史・思想	時間数	17時間
開講期間	2023年後期	授業形態	対面授業
使用テキスト名			
補助教材			

科目概要と科目到達目標

様々な映画を用い、現代につながる文化や歴史的背景について学び、理解する事で国際人としての教養を身に着け、コミュニケーション力向上を図る。

授業の進め方・学習方法・課題

毎回課題の映画を視聴し、その映画の文化・歴史的背景を考察する。映画を視聴してどのような感じたか、感想や考察をレポートとして提出、クラス内で発表する。

対面授業と遠隔授業の併用実施

評価方法・成績評価基準

①定期試験50%　②授業への積極的参加20%　③提出物20%　④学習意欲10%

【成績評価基準】

A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた

B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している

C＝良（79－70点）　到達目標を達成している

D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している

E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	映画と歴史の関係性を解く	映画史とその時の時代背景を理解する
2	「スタンドバイミー」前編	時代背景を学び文化的考察を行う
3	「スタンドバイミー」後編	
4	感想・考察文作成	文化・社会・歴史的考察を行い、理解を高める
5	感想・考察文クラス内発表	他者の意見を聞き、作品への理解度を深める
6	「マイ・インターン」前編	文化・人種的背景を学ぶ
7	「マイ・インターン」後編	
8	感想・考察文　作成	文化・社会・歴史的考察を行い、理解を高める
9	感想・考察文　発表	他者の意見を聞き、作品への理解度を深める
10	「フォレスト・ガンプ」前編	文化・人種的背景を学ぶ
11	「フォレスト・ガンプ」中編	
12	「フォレスト・ガンプ」後編	
13	感想・考察文　作成	文化・社会・歴史的考察を行い、理解を高める
14	感想・考察文　発表	他者の意見を聞き、作品への理解度を深める
15	映画・ドラマの相違と文化	映画とドラマでの違いを見つけ、考察する
16	映画監督・俳優・女優から学ぶ人生	映画監督や演者の人生からメッセージを読み解く
17	映画史レポート提出と発表	今まで学習して気づいたことや意見を記述し発表する
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

学　科　名	全科	必須・選択	選択必須
学　　年	2年	担当教員	阿部塊地
科　目　名	現代文学研究	時間数	17単位時間
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業
使用テキスト名	赤と青のエスキース　PHP出版社		
補助教材	パワーポイント　スライド		

科目概要と科目到達目標

2022年本屋大賞2位作品を読み解く。
先を読む力、文章を読み解く力、人の意見を聞く力、自分の考えをまとめ発表する力を養い、就職後に活かせるよう、能動的な姿勢を身につける
一冊の本を元に、物事を深く考え、自分の言葉で人に説明する力を養う。

授業の進め方・学習方法・課題

授業の３日前までに、決められた章（部分）を読み、解釈を200字程度のレポートで提出する。
授業時はそのレポートを元に発表、話し合いをして進めていく。
定期試験はPPTを作成し、プレゼンテーション形式で発表を行う。

評価方法・成績評価基準

①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物 20% ④学習意欲 20%

【成績評価基準】
A＝秀（100－90点）　到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
B＝優（89－80点）　達成目標を十分に達成している
C＝良（79－79点）　到達目標を達成している
D＝可（69－60点）　到達目標を最低限達成している
E=不可（59点以下）　到達目標に達成していない

実務経験教員の経歴

週数	学習内容	学習のねらい
1	プロローグ	文学作品の読み方を知る
2	第1章①　レポート提出	文章を読み解く力を身につける
3	第1章②　レポート提出	人の意見を聞く力を身につける
4	発表①	自分の考えをまとめて発表する力を養う
5	第2章①　レポート提出	文章を読み解く力を身につける
6	第2章②　レポート提出	人の意見を聞く力を身につける
7	発表②	自分の考えをまとめて発表する力を養う
8	第3章①　レポート提出	文章を読み解く力を身につける
9	第3章②　レポート提出	人の意見を聞く力を身につける
10	発表③	自分の考えをまとめて発表する力を養う
11	第4章①　レポート提出	文章を読み解く力を身につける
12	第4章②　レポート提出	人の意見を聞く力を身につける
13	発表④	自分の考えをまとめて発表する力を養う
14	エピローグ	文学作品を読み解く力を身につける
15	定期試験　発表⑤	自分の言葉で人に説明する力を養う
16	定期試験　発表⑥	自分の言葉で人に説明する力を養う
17	まとめ	
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		